

2020 年度 7 月京大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 点減点。
- ③ 指定用語不使用は 1 点減点。
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実に誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

問(4)② 3 点

各民族の文化を互いに尊重し，その共存を図る多文化主義政策。

【加点ポイント】

- ① (政策名) 多文化主義 →1 点
- ② (①の意義) 各民族の文化を尊重する／各民族の共存を図る
／少数民族の文化を尊重する／異なる文化を持つ集団を対等とする
／民族間の差別を禁止する／多様な文化の共生を図る →2 点

問(5)① 2 点 シンハラ人／シンハリ人

問(5)② 4 点

茶のプランテーション労働力としてインド南部から流入したため。

【加点ポイント】

- ① (移住の理由) 労働力とされた／(宗主国の) イギリスにより移住させられた →2 点
- ② (①の使用先) 茶のプランテーション／茶の栽培／農園 →1 点
- ③ (移住前の地域) インド南部／インド →1 点

Ⅱ

問(1) 各 1 点×4

ア：ベトナム イ：ミャンマー

ウ：カンボジア エ：MERCOSUR（南米南部共同市場）

問(2) 各 1 点×2

B：フィリピン D：マレーシア

問(3)① 4 点

当該地域で生産される製品の輸出を条件に、関税の免除などの優遇措置がとられている。

【加点ポイント】

- | | | |
|---------------------------|---|--------------|
| ① 関税の免除などの優遇措置がある／税制優遇がある | } | 1つ2点
4点まで |
| ② (①は) 製品の輸出が条件とされる | | |
| ③ 現地の安い労働力を利用できる | | |

問(3)② 1 点 マナオス／マナウス

問(4)① 1 点 エルニーニョ現象

問(4)② 3 点

太平洋の東側は降水量が増え、太平洋の西側は高温乾燥となる。

【加点ポイント】

- ① (東側は) 降水量が増える／雨が多い →1 点
- ② (西側は) 気温が上がる／高温となる →1 点
- ③ (西側は) 降水量が減る／乾燥する／雨が少ない／日照りが続く →1 点

問(5)① 1 点 (完答) い, ブラジリア

問(5)② 4 点

内陸部の開発を目的に建設された計画都市であり、人口の集中する首位都市ではない。

【加点ポイント】

- ① 計画都市である／首都のために建設された都市である →2 点
- ② (①の目的として) 内陸部の開発／人口の分散／産業の分散 →1 点
- ③ (人口規模) 首位都市ではない／プライメートシティではない
／国内最大の人口ではない／人口は他の大都市に比べ少ない →1 点

Ⅲ

問(1) 2点 D

問(2) 各2点×2

南アメリカ：B ヨーロッパ：D

問(3) 4点

一般に集約的農業では土地生産性が高くなり、粗放的農業では労働生産性が高くなる。

【加点ポイント】

① 「集約的農業」は「土地生産性が高い」 →2点

② 「粗放的農業」は「労働生産性が高い」 →2点

問(4) 4点

冬はふもとの村で舎飼いをし、夏は森林限界より標高の高い草地で放牧を行う。

【加点ポイント】

① 「冬は／冬季は／寒くなると」＋「ふもとで舎飼いする／低地の小屋で育てる」 →2点

② 「夏は／夏季は／暑いときは」＋「高地で放牧する／標高の高い草地へ移動する」 →2点

(※①②を合わせて 「移牧を行う／季節により垂直移動をして飼育する」のみ →3点)

問(5)① 各2点×2

コーヒー豆：C パーム油：B

問(5)② 2点 インドネシア

Ⅳ

問(1) 各1点×2

あ：リオデジャネイロ い：気候変動枠組条約

問(2) 3点

温室効果ガス排出削減義務の対象国が、aは先進国のみ、bは発展途上国も含むこと。

【加点ポイント】

① (aについて) 対象国は先進国のみであった →2点

② (bについて) 対象国は途上国も含まれた／すべての国が対象国となった →1点

(※ a：京都議定書，b：パリ協定 としていても可)

問(3) 4 点

海上に浮かぶ北極の海氷は融解しても海面をほとんど上昇させないが、大陸上に存在する南極の氷河は融解すると海面を上昇させる。

【加点ポイント】

- ① (北極では) 海面がほとんど上昇しない／水の膨張でわずかに海面が上昇する →1 点
- ② (①の理由) 海氷は海上に浮かんでいるから
／海氷は比重が小さく溶けても元の水位に戻るだけである →1 点
- ③ (南極では) 海面が上昇する／北極より海面上昇に与える影響が大きい →1 点
- ④ (③の理由) 大陸上の氷河が融けるから／陸上の水分が海に流れ込むから →1 点

問(4) 3 点

暖流である北大西洋海流が流れ込んでいるから。

【加点ポイント】

- ① 暖流 →2 点
- ② (①の名称として) 北大西洋海流 →1 点

問(5)① 各 2 点×2

- ・北極海を経由する海洋航路の開発
- ・海底資源の調査・開発の進展

【加点ポイント】

- ① 北極海航路の開発 (北極海が航路となることが分かれば加点) →2 点
- ② 資源の開発 (北極海底で資源の調査や開発が進むことが分かれば加点) →2 点

問(5)② 各 2 点×2

- ・生態系の破壊とそれによる先住民の生活の変化
- ・海底のメタンハイドレートに含まれるメタンガスの放出による温暖化の加速

【加点ポイント】

- ① 生態系の破壊／ホッキョクグマなどの海獣の減少／先住民の生活の変化
 - ② 海底のメタンガス放出による温暖化の加速
 - ③ 資源開発による沿岸国の領有争い
- } 1つ2点
4点まで

V

問(1) 各2点×2

①：散村／散居村 ②：太田川流域

問(2) 5点

電気・ガスの普及により，薪炭材としての利用が減少したため。

(別解) 瓦屋根やアルミサッシの普及で，防風林の機能が不要となったため。

【加点ポイント】

① 薪炭材としての利用が減少した／木を燃料としなくなった →3点

② (①の理由) ガスの普及／電気の普及／オール電化 →2点

<別解について>

【加点ポイント】

① 防風林の機能が不要となった →3点

② (①の理由) 瓦屋根の普及／アルミサッシの普及／強固な家屋の普及 →2点

問(3) 5点

A付近は水利の悪い扇状地の扇央だが，扇頂付近で庄川から導水した用水路を敷設した。

【加点ポイント】

① (A付近の地形) 扇央 →2点 (※「扇状地」のみ →1点)

② (水田立地の要因) 用水路の敷設／用水路の整備／若林口用水 →2点

③ (①の水源として) 庄川／扇頂付近からの導水／合口ダム／ダムの水 →1点

問(4)① 3点

上流側に開口部がある不連続な堤防。

【加点ポイント】

① 霞堤／不連続な堤防／堤防を切っている／上流側が開いている堤防 →3点

問(4)② 3点

洪水時に上流で氾濫した水を下流部から河川に戻し被害を軽減させる。

【加点ポイント】

① 氾濫した水を下流部から河川に戻す

／氾濫した水を水田経由で下流に流す

／氾濫域を限定することで被害を軽減する

／決まったところに氾濫させることにより被害を軽減する →3点

(※「上流側で水をあふれさせることで下流域の氾濫を防ぐ」では加点しない)